

中学部 研究授業

令和6年12月6日(金) 浜松特別支援学校 大澤和俊先生をお迎えして御指導いただきました。

<研修テーマ> 働く喜びを感じる授業づくり ～できたことを実感するフィードバックの工夫～

<研究授業> 作業学習（縫工班）単元名「中学部のために喜んでもらえるティッシュケースを作ろう」

良品作りのポイントを意識して作業に取り組む姿や、働く喜びを感じて、作業に自分から取り組む姿をねらい、中学部のためにティッシュケースを作る活動を行いました。

中学部の先生や友達に喜んでもらえるように、試作品を作って布の色や組み合わせを考え、絞り染め、アイロン、ミシンなどの工程を分担しました。



絞り染めの工程では、ビー玉と結束バンドを使用して模様を付けています。出来高表で教師の顔と布の色を確認してから取り組むことで、渡す相手を意識して製品を作ることができました。また、良品のポイントである「印に合わせてビー玉を置く」「ビー玉が見えないようにバンドを強く締める」を確認しながら、作業に取り組むこともできました。

大澤和俊先生から、生徒が働く喜びを感じることができるためのフィードバックの方法として、その日の成果をシールや○で置き換えるのではなく実物を提示すると、生徒の達成感につながると御助言いただきました。今後御助言いただいたことを授業に活かし、より生徒ができたことを実感できる工夫をしていきたいと思っています。

